

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	北朝霞公民館運営事業				事務事業コード	06801	
部 名	生涯学習部	課 名	中央公民館	係 名	北朝霞公民館	部課コード	120300

1. 事業概要

総合計画コード	3221				
事業年度	S 27 年度	～	H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input checked="" type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例、同条例施行規則	
めざす目的成果	地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書の確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。				
事業内容	・窓口業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する業務 ・各種講座開催 ・施設(部屋)の貸し出し・維持管理 ・公民館まつりの開催 ・図書の貸し出し・返却に関する業務				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付				<input type="checkbox"/> 補助金交付
	・事務職員(非常勤職員を含む)8人による事務運営・図書業務運営 ・講師・保育ボランティア等の協力者を得ての事業運営 ・実行委員会との協働による公民館まつりの開催・運営				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		○主催事業(教養講座、子育て講座、わんぱくキッズランド、こども公民館、映画会、人権教育講座等)参加者 延べ344人 ○利用人数 37,000人 ○利用率 67.4% ○図書貸出数 35,000冊 ○公民館まつり 参加24団体 延べ1,981人				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		7,093	6,986	7,128	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	7,093	6,986	7,128		
	b 人件費	10,259	10,259	10,259		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	17,352	17,245	17,387		
投入労働量	常勤職員等(人工)		1.40 人	1.40 人	1.40 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		4,891 時間	4,966 時間	4,581 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		《報酬》5,408千円(一般職非常勤職員)《報償費》167千円(講師謝金等) 《需用費》754千円(消耗品費、燃料費、食糧費、備品修繕料) 《役務費》359千円(郵便料、電話料、調律手数料、検便手数料) 《使用料及び賃借料》440千円(自動車借上料、複写機借上料、印刷機借上料) 合計 7,128千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 開館日数	日	292 (292)	292 (—)	291 (—)	H 32 年度
	②					H 年度
成 果	① 利用人数	人	41,000 (37,000)	41,000 (—)	41,000 (—)	H 32 年度
	②					H 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 地域の学習活動及び災害時避難場所として機能しており、今後も市の運営が必要である。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 活動指標については概ね目標は達成しているの、公民館としての市民サービスを提供できた。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 多様な学習機会を提供し、誰もが利用しやすいように配慮した。 参加と協働: 利用団体の声を運営に反映させるとともに、利用団体による自主的な活動を支援した。 経営的な視点: 多くの団体が利用できるよう、公正な貸館業務に努めた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 地域の学習活動として、今後も利用者の要望等に対応した事業が出来るよう情報収集に努める。 また、財政事情により事業にかかる予算が維持できない場合でも、可能な限り実施していくよう努める。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	地域の学習拠点として、情報の収集・発信、利用しやすい施設になるように努める。 事業実施に際しては幅広く新しい課題などにも対応したテーマを設定するために、相応の予算が今後も必要である。		